

※金額は、万円未満切捨

予算可決
平成24年度

国民健康保険 特別会計

43億9,078万円

12%と大幅に増加 一般会計からの繰入も

予算の
あらまし

前年度比で約4億7000万円(約12%)の大幅な増加となっています。これは、医療の高度化などによる医療費(保険給付費)や後期高齢者支援金の増加によるもので、財源不足を補うために一般会計から約1億5000万円繰り入れていきます。国保財政が危機的な状況にあることから、負担の公平性の確保と医療費削減の両面で、さまざまな取り組みを行い、国保財政の健全化に努めています。

反対
討論

国民皆保険の創設の精神に
今こそ立つべき

田母神節子議員

高すぎる保険料は1人年間1万円の引き下げと、短期保険証65人、資格証明書12人にはすべて保険証を渡し、安心して医者にかかれるようにすること、このことこそ、国民皆保険の精神。
払えない人に対して減免制度の適応など、いくらかでも払える努力をすべきである。

賛成
討論

国保財政の健全化に向けた
取り組みを

大久保幸夫議員

国民健康保険は国民皆保険の最後の砦として非常に重要な役割を果たしている。その財政状況は高齢化の進展や医療の高度化などにより医療費が大幅に増え続けているため、危機的な状況にあり、一般会計からの繰り入れがなければ財源の確保が難しい状況にある。そのため、町を挙げての新たな健康づくり事業の一つひとつに早期に着手し、その成果が数値となってあらわれることを期待する。

予算可決
平成24年度

後期高齢者医療 特別会計

3億797万円

人間ドック助成を継続 地域巡回健康教室も

予算の
あらまし

高齢者の健康維持と介護予防等のための、健康診査や人間ドック費用の助成を引き続き実施するほか、新たに健康体操や相談に応じる地域巡回健康教室も開催します。

反対
討論

75歳になったら医療費は
無料に

田母神節子議員

お金を持たずに医者にかかれるようにすること。後期高齢者医療制度は廃止しかな

賛成
討論

健康診査、人間ドックなどの
予防事業の取り組みを

津久井康雄議員

健康診査や人間ドックなどの予防事業に取り組み、高齢者の健康保持と医療費の増加抑制に努める姿勢を評価するが、さらに国保同様、町民全体の健康づくりのために、町として取り組んでほしい。また、増え続ける医療費に対応するため、24年度から保険料が増額改定され、加入者の保険料負担が増加するが、町民の理解が得られるようサービスの向上に努めてほしい。

予算可決
平成24年度

下水道事業 特別会計

4億8,114万円

男衾駅周辺地区も 面整備を実施

予算の
あらまし

公共下水道では、安定した施設管理を進めるため、寄居第1中継ポンプ場の制御盤更新などを行い、寄居駅南地区では4・7ヘクタールのうち、24年度は2・4ヘクタールの工事に着手。男衾駅周辺地区も5・2ヘクタールの面整備が実施されます。



供用開始を待つ折原クリーンセンター

予算可決
平成24年度

農業集落排水事業 特別会計

8,856万円

前年度比約70%減 折原地区7月供用開始

予算の
あらまし

前年度比70・2%の減額となっています。これは折原地区での整備が、処理施設の進捗工事などを除いて完了したためです。折原地区では7月から供用開始となります。供用開始している今市と用土中央地区とあわせ、適正な維持管理とともに、本管への排水接続を促して水質保全を図っていきます。

予算可決
平成24年度

水道事業会計

14億4,824万円

加圧ポンプ場建設 安定供給に努める

予算の
あらまし

23年度からの継続事業である彩の国資源循環工場第II期事業に向けた加圧ポンプ場の建設を進めます。計画的な老朽管の更新、公共工事に伴う配水管の布設替えなど、施設の維持管理を行い、安定した水道水の供給に努めるといふものです。

反対
討論

10立方メートル以下の
料金設定を

田母神節子議員

基本料金(20立方メートル以下)だけの世帯が3500世帯にも及んでいる。大変節水している。少量(10立方メートル以下)の基準をつくって節水に促すべき。水道料金はかぎりなく無料に近いことが望ましいと考える。

賛成
討論

環境変化に対応した安全な
水道水の安定供給を評価

峯岸克明議員

彩の国資源循環工場第II期事業に向けた配水施設整備と配水管整備を行うこと。また、公共事業に合わせた配水管の布設や漏水事故・震災対策を踏まえた老朽配水管の更新、町民生活支援のために実施した基本料金の10%引き下げ等、町民の皆様が日常生活や産業活動を営む上で、安心して利用できる水道水の安定供給に向けた諸施策を評価し、本予算に賛成する。